



総合資料館だより

2014. 4. 1 No. 179

「東寺百合文書WEB」を公開



京都府立総合資料館では、所蔵する国宝「東寺百合文書」を平成26(2014)年3月3日から順次、インターネット上で公開しています。4月末にはすべての画像、約8万カットを公開することとしています。墨の色や紙の質感もわかるような解像度の画像やコラム形式の解説文等で、様々な方に興味をもっていただける内容を目指します。ぜひ、パソコンやタブレット端末から「東寺百合文書」に記された中世の京都、中世の日本の出来事をのぞいてみてください。

目次	「東寺百合文書WEB」を公開	1
	文献課の窓から 大学入試制度の変遷	2
	歴史資料課の窓から 近藤豊撮影写真資料	4
	最近の収集資料から (平成25年12月～26年2月)	6
	平成25年度に実施した総合資料館開館50周年記念事業一覧	8
	友の会事務局から、利用案内	8

大学入試制度の変遷

はじめに

今年1月に行われた「大学入試センター試験（センター試験）」日本史Bでは、当館所蔵の国宝東寺百合文書「足利直義裁許状」が写真・解説入りで出題されました。



東寺百合文書「足利直義裁許状」（貞和5(1349)年)

大学入試に「センター試験」が実施されるようになって25年が経過しました。この間、試験形式や内容、大学側の受け入れ方等さまざまな変更があり現在に至っています。

戦後の大学入試は、急激に変動する社会情勢の中、国による改革が数度にわたって行われました。ここでは、国の諮問機関である中央教育審議会及び臨時教育審議会の答申を中心に、大学入試制度の変遷を辿ります。

戦後の教育改革

戦後日本では、教育の力によって平和国家を実現するため、1947年に2つの法律が制定されました。その一つが教育の機会均等を規定した「教育基本法」であり、もう一つは学制などを定めた「学校教育法」です。大学に関しては、「学校教育法」により、旧制大学、旧制高等学校、師範学校、高等師範学校等が新制大学として再編されました。戦前までは、旧制高等学校など限られた種類の学校を卒業しなければ大学に進学できませんでしたが、戦後は、専門学校の大学昇格や新たな大学の設置も増え、高等教育を受ける環境が次第に充実してきました。

入試には、学力検査と進学適性検査（進適）がありました。進適は受験者の知的素養を検査する制度で、国が全国一斉に実施した試験でした。しかし、1955年度からは進適の実施が各大学の自由となり、文部省は大学入学試験研究協議会を設置して選抜方法の改善を図りました。

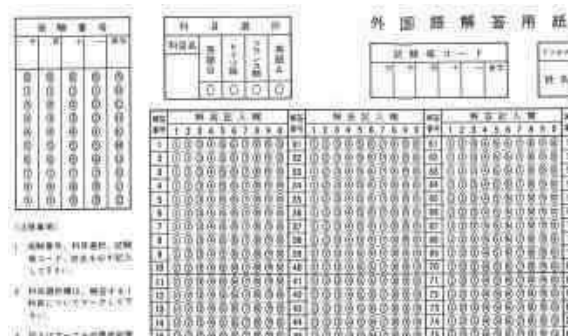
共通一次学力試験

その後、大学入試のために特別な学習を求めることで受験競争を過熱させ、学校教育全般に重大な影響を及ぼしているなどとして、1967年7月、文部大臣から中央教育審議会（中教審）に対し、「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」の諮問がありました。

中教審では1971年6月の答申で、「広域的な共通テストを開発し、高等学校間の評価水準の格差を補正するための方法として利用すること」などとし、全国的なレベルの試験問題について検討することとなりました。そして、1977年に大学入試センターが設置され、「共通一次学力試験（共通一次）」の準備が開始されました。

「共通一次」は、国公立大学等の志願者を対象に1979年から1989年まで行われ、試験科目は5教科7科目（'87以降は5教科5科目）で、自己採点を基に受験できる大学は1校のみ（'87以降は最大3校）でした。

また、一括して大量の結果を整理するため、記述式ではなくマークシート方式が新しく採用されました。



マークシート解答用紙・部分（『大学入試センター年報』1978年度）

大学入試センター試験

11年続いた「共通一次」が、「自ら考え判断する能力等が妨げられている」「偏差値偏重の事態に受験地獄を悪化させている」「大学の序列化を招いている」と批判が上がり、新たな改革が求められました。

1984年8月、中教審とは別に、より総合的な審議を行うため、臨時教育審議会（臨教審）が発足しました。そして同年9月、総理大臣から臨教審に対し、「我が国における社会の変化及び文化の発展に対応する教育の実現を期して各般にわたる施策に関し必要な改革を図るための基本的方策について」の諮問がありました。

1985年6月の答申では、改革の基本に「個性重視の原則」を掲げ、「共通一次」に代わって国公私立が自由に利用できる「共通テスト」の創設などを提案しました。そして「大学入試改革協議会」（同年7月設置）において「新共通テスト（新テスト）」の基本的あり方をまとめることとなりました。併せてその実施主体である大学入試センターの改組も行われ、1990年に第1回「センター試験」が実施されました。

当初は5教科7科目が設定されましたが、その後学習指導要領の改訂等に伴い、現在は6教科31科目の中で、志望する国公私立大学の学部等が指定した科目を選択して受験することとなりました。さらに「実用的な英語を身につけてほしい」という大学側の要望により2006年には英語のリスニングも加わりました。

達成度テスト実施に向けて

2013年1月に閣議決定された教育再生実行会議では、同年10月、「昨今のグローバル化、少子高齢化の進展に伴い、さらなる主体性・創造性を持った多様な人材を育成するため、大学入学選抜の改革が必要である」との提言がありました。そこでは、大学入試センター試験を廃止し、新たに「達成度テスト」として「基礎レベル」と「発展レベル」の2段階の試験を設け、高校在学中に複数回受験可能とすることや、1点刻みの選抜から脱却できるように工夫することが求められています。

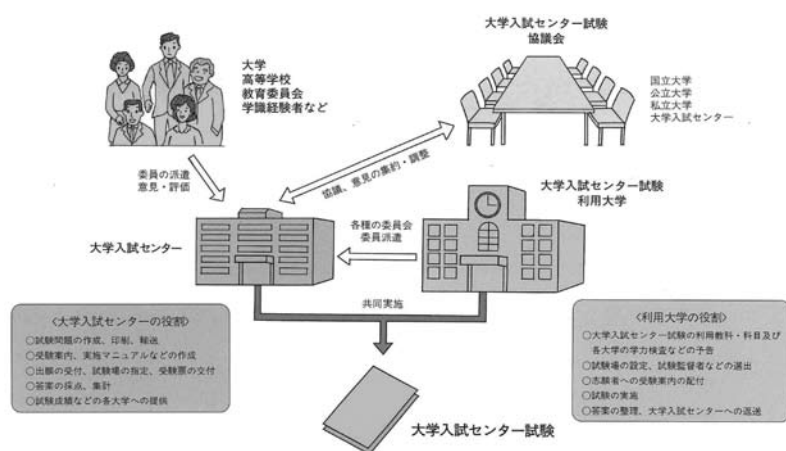
今後、具体的な実施方法や体制、財政面での整備等については、高校における教育活動に配慮しつつ、中教審等において実務的に検討される予定です。

おわりに

大学入試制度は、さまざまな内容と方法が検討された結果、複雑化・多様化してきました。各審議会において、将来の日本を担う人材育成の観点でいろいろ議論されてきましたが、理想を実現するのはなかなか難しいといえます。

受験勉強のためだけでなく、いろいろな知識を身につけることは、生涯において大切です。そのための学びの場として、大学や学校教育ばかりではなく、当館のような地域に根ざした文化施設も大いに活用していただければ幸いです。

（文献課 人文・官庁担当 藤本恵子）



センター試験の運営（『大学入試センター要覧』1993年）

参考文献

- ・『大学入学試験に関する調査』（文部省大学学術局大学課編刊、1958年、M/376.87/MO31）
- ・『大学入試センター年報』（大学入試センター編刊、1978年、M/376.87/D16）
- ・『文部省大学入試センター要覧』（大学入試センター編刊、1993年、M/376.87/D16）
- ・『臨教審総覧』上巻・下巻（教育政策研究会編著、1987年、M/373.1/KY4）
- ・『中央教育審議会答申総覧』（教育事情研究会編、1992年、M/373.1/C66）

など

近藤豊撮影写真資料

はじめに

この度、建築史家、故近藤豊氏の御遺族から、氏の生前に撮影された写真資料の寄贈の申し出をいただきました。京都府立総合資料館では、写真資料の収集を行っていることから、御遺族の御自宅に伺い調査させていただき、以下に述べる大変貴重なものであることがわかり、一時預かりを行って目録作成を行ってまいりました。

この度、資料群の約半分強の目録が完成したことに伴い、その分の寄附申出をお受けしたものです。

1 近藤豊撮影写真資料の概要

近藤豊氏が生涯を掛けて撮影した約10万カットに及ぶ資料群で、ほとんどすべての資料に撮影年次、撮影場所が書かれているのが特徴です。これほど克明に記録を残されている写真資料は希有な例といえます。

撮影年次は昭和8年(1933)から平成元年(1989)にまで至っています。また、写真の対象物は、近藤氏が建築の中でも建築物の部材、意匠といったことが専門であったことから、その関連の写真が大部分を占めています。まさに、戦前から平成にかけての建築物や、細部の建築意匠を知ることのできる一級資料といえます。

撮影の対象地域も京都を中心に、全国に及んでおり、中には韓国の貴重な写真もあります。特に注目すべきは、戦前の写真の中でも長崎の寺院で、原子爆弾によって焼失した寺院の写真も存在します。また、大阪の四天王寺は、室戸台風で倒壊した後の昭和15年(1940)に再建されますが昭和20年(1945)には大阪大空襲で再び灰燼に帰しました。この再建時のものがこの資料には収められています。その他にも、現存しない建物が多く含まれており、大変貴重な資料であることがわかります。

2 資料群の内訳

先に述べたように、撮影時期が戦前期から平成までであり、時代に応じて撮影された感光材料がガラス乾板からブローニーフィルム、35mm

フィルムへと変わっていく点も大変興味深い資料です。

資料群の内訳は、以下のとおりです。

- ①ガラス乾板 913枚 (キャビネ版)
- ②硝酸セルロース・モノクロフィルム 739枚
- ③ブローニーフィルム (6×6等) 58,320枚
- ④35mmモノクロネガフィルム 約 30,000枚
- ⑤35mmスライドポジフィルム 約 3,000枚

このうち、今回、寄附を受けるのは目録の完成した①～③までで、その内訳は下表のとおりになっています。

番号	種別	点数
1	ガラス乾板(昭和10年前後～昭和29年頃)	
	(1)キャビネ判	905 点
	(2)手札版	8 点
2	戦前ネガフィルム(昭和10年前後～昭和20年頃)	
	(1)90mm×142mm	35 点
	(2)72mm×44mm	464 点
	(3)116mm×85mm	229 点
	(4)キャビネ判	11 点
3	ブローニー・ネガフィルム(昭和28年頃～昭和53年頃)	
	(1)6×9	23 点
	(2)6×7	30 点
	(3)6×6	58,267 点
4	モノクロ・35mmネガフィルム(昭和49年)	2 点
合計		59,974 点

3 資料の内容

撮影対象は、以下のとおり多岐にわたっています。

- (1) 戦前期から平成期までの京都の寺社・民家・明治洋風建築等の全体と細部意匠
- (2) 戦前期から平成期までの他府県の寺社・民家・明治洋風建築等の全体と細部意匠
- (3) 戦前期と昭和期の韓国等の寺院・民家等の全体と細部意匠
- (4) 解体修理が行われた建物の修理前、修理中、修理後の建築全体と細部意匠

■ 建築時の全体写真



昭和11年5月25日撮影「四条烏丸」



昭和42年9月7日撮影「大原楽園」



昭和46年8月24日撮影「綾部市岩王寺本堂」



昭和14年11月29日撮影「韓国法住寺捌相殿等」

■ 建築時の細部意匠写真



昭和42年11月10日撮影「石清水八幡宮西妻懸魚」



昭和34年3月5日撮影「桂離宮新書院一之間襖引手」

特に、先にも述べたように、近藤氏は建築の細部意匠に関する研究の第一人者であることから、同氏の著作に多く用いられた写真が収録されています。これらの写真のうち、細部意匠に関するものは、重要建築の解体修理などの際に大いに参考となるでしょう。加えて、これまで年代が特定できなかった当館の他資料との比較検討ができ、それによって撮影年次や当時の流行様式等、解明されるものも少なくないと考えられます。

また、撮影された年代が古いものについては、すでに建築物そのものが無くなっているものもあり、写真でしか確認できない建築物については大変貴重な資料となるでしょう。

4 内容別点数

先に記した資料を、内容別に分類すると、下記のようになります。なお、35mmモノクロネガフィルム及び35mmカラーリバーサル、プリント写真類については、目録が完成次第受け入れる予定です。

(1)ガラス乾板 913点

- ・京都府の寺院・神社・民家等に関するもの 404点
- ・他府県の寺院・神社・民家等に関するもの 439点
- ・韓国に関するもの 70点

(2)戦前ネガフィルム 739点

- ・京都府の寺院・神社・民家等に関するもの 53点
- ・他府県の寺院・神社・民家等に関するもの 58点
- ・韓国に関するもの 628点

(3)ブローニーモノクロネガフィルム 58,320点 (カット数)

- ・京都府の寺院・神社・民家等に関するもの 27,503点
- ・他府県の寺院・神社・民家等に関するもの 29,974点
- ・韓国・ドイツに関するもの 843点

(4)35mmモノクロネガフィルム 2点 (カット数)

- ・稲荷大社楼門小屋組み立て中写真 2点

いずれも貴重な写真ばかりであり、多くの方々に御利用いただければ幸いです。

◇◇ 最近の収集資料から ◇◇ (平成25年12月～平成26年2月)

◆図書資料

〈京都〉

秦氏の研究 続 大和岩雄著 大和書房 2013 630,13p

長岡京の歴史考古学研究 國下多美樹著 吉川弘文館 2013 6,323,7p

私たちの小さな宮津・松尾史 小谷信一郎・小谷正[編]刊 2013 244p 寄贈

京都地名語源辞典 吉田金彦・糸井通浩編 東京堂出版 2013 7,642p

創立30周年記念誌 うめの木福社会[編]刊 2013 72p 寄贈

近代京都の施薬院 八木聖弥著 思文閣出版 2013 2,281,16p 寄贈

京の水案内 カッパ研究会編 京都新聞出版センター 2013 173p 寄贈

近世妙心寺建築の研究 平井俊行著 思文閣出版 2013 4,346p

奈良屋杉本家二百七十年の歩み 近世から近代への京商家・商い・生活・信仰 奈良屋記念杉本家保存会編刊 2013 87p 寄贈

〈人文〉

書誌年鑑 2013 中西裕編 日外アソシエーツ 紀伊國屋書店(発売) 2013 7,492p

著作権白書 著作権産業の側面からみて 第4集 著作権情報センター[編]刊 2013 216p (著作権研究所研究叢書 No.24) 寄贈

日本被害地震総覧 599-2012 宇佐美龍夫・石井寿著 東京大学出版会 2013 19,694p ※2003年刊の改訂

日本古代道路の復原的研究 木下良著 吉川弘文館 2013 9,552,8p

伊勢神宮と日本人 式年遷宮が伝える日本のこころ 三橋健編著 河出書房新社 2013 253p

秀吉に備えよ!! 羽柴秀吉の中国攻め 長浜市長 浜城歴史博物館編刊 2013 134p 寄贈

中華民国の誕生と大正初期の日本人 曾田三郎 著 思文閣出版 2013 4,312,8p

戦時下日本美術年表 1930→1945 飯野正仁 編 藝華書院 2013 1238,56p

中世屏風絵研究 泉万里著 中央公論美術出版 2013 412p 図版16p

***日本美術全集** 2,3,10,13,14巻 辻惟雄ほか編集委員 小学館 2012-2013 5冊 寄贈

***近代日本彫刻集成** 全3巻 田中修二編 国書刊行会 2010-2013 3冊 寄贈

***来迎図の美術** 増補版 中野玄三著 同朋舎メディアプラン 2013 5,103p 寄贈

***拾遺古徳伝絵** 〈常福寺本〉 法然上人八百年大遠忌記念 中井真孝編 浄土宗 2009 390p (法然上人絵伝集成 3) 寄贈

***光琳畫譜** 乾・坤 尾形光琳[画] 中村芳中筆 芸艸堂 2005 2帖 寄贈

***琳派絵画全集** 全5冊 山根有三編 日本経済新聞社 1977-1980 5冊 寄贈

***宗達伊勢物語図色紙** 羽衣国際大学日本文化研究所伊勢物語絵研究会編 思文閣出版 2013 203,6p 寄贈

***岩佐又兵衛全集** 絵画篇・研究篇 岩佐又兵衛[画] 辻惟雄・佐藤康宏監修・編著 藝華書院 2013 2冊 寄贈

***もみぢ** 久保田金僊筆 芸艸堂 1985 1冊 寄贈

***中国繪畫總合圖録** 3編第1巻 アメリカ・カナダ篇 1 東京大学出版会 2013 14,384p 寄贈

***ボッティチェッリ全作品** ボッティチェッリ[画] 高階秀爾・鈴木杜幾子編著 高階秀爾・鈴木杜幾子・京谷啓徳執筆 中央公論美術出版 2005 334p 寄贈

***むかしはなし** 下村玉廣画集 下村玉廣筆 芸艸堂 1925 1冊 寄贈

***永遠の日本** 白川義員作品集 白川義員著 小学館 2012 2冊 寄贈

***中井貞次作品集** イメージを染める 中井貞次著 求龍堂 2012 233p 寄贈

*印の資料は、財団法人京都高等学校から御寄贈いただきました。

〈官庁〉

犯罪白書 平成25年版 法務省法務総合研究所編 日経印刷 2013 10,333p

平成財政史 平成元～12年度 第2巻 財務省財務総合政策研究所財政史室編 大蔵財務協会 2013 38,776p

雇用保険事業年報 平成24年度 厚生労働省職業安定雇用保険課編刊 2013 196p 寄贈

道路統計年報 2013 国土交通省道路局企画課編刊 2013 465p 寄贈

高浜発電所及び大飯発電所環境影響監視結果 平成24年度 京都府文化環境部環境・エネルギー局環境管理課編刊 2013 82p

介護保険制度の実施状況 平成24年度 京都府健康福祉部高齢者支援課編刊 2013 109p

京都市の原子力防災 京都市行財政局防災危機管理室[編]刊 2013 16p 寄贈

福知山市景観計画 福知山市都市計画課[編]刊 2013 47p 寄贈

平成25年度に実施した 総合資料館 開館 50 周年記念事業 一覧

■展示

- 7. 1～ 7. 31 特別展示第2部のリクエスト募集
- 7. 11～ 9. 10 ミニ展示 第1期「平成で25年 世相を所蔵資料でふり返る」
- 9. 12～12. 27 ミニ展示 第2期「昭和で25年 世相を所蔵資料でふり返る」
- 10. 12～11. 10 特別展示第1部「ユネスコ記憶遺産推薦決定記念 平成25年度東寺百合文書展」
(同時開催 みんなで作る50年史)
- 11. 14～12. 15 特別展示第2部「資料にぞくっ！～昭和で25年・平成で25年を所蔵品でふりかえる～」
(同時開催 みんなで作る50年史)
- 1. 6～ 1. 31 デジタル体験「国宝東寺百合文書展」

■シンポジウム等

- 7. 14 トークセッション「新資料館に期待する」
- 9. 29 「地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム ー山城地域の活動報告を中心としてー」
- 10. 14 国際京都学シンポジウム「東寺百合文書のこれから ー記憶遺産に向かってー」
- 11. 16 総合資料館開館50周年記念シンポジウム「総合資料館の50年と未来」
- 1. 11 国際京都学シンポジウム「近代京都の学と美の新生 ー明治・大正期の日中文化交流の中からー」

■講座等

- 8. 1 寺子屋講座「夏を涼しく！京うちわ」
- 3. 23 寺子屋講座「京都の歴史を歩こう！2014 ー岡崎編ー」
- 12. 24～12. 26 古文書入門教室
- 3. 4～ 3. 6 平成25年度歴史資料解説講座

■オリジナルブックカバー

- 9. 14～11. 30 (第1期) 公開
- 12. 1～ 1. 31 (第2期) 公開

■京都学へのいざない講座 ー京都力を探るー

- 10. 6 第1回「現代京都のものづくり ー伝統文化からデジタル文化にー」
- 10. 23 第2回「京都ものづくりの基盤の形成 ー琵琶湖疏水・田邊朔郎とその時代ー」(現地講座)
- 11. 19 第3回「京都の文明開化 ー山本覚馬を中心にー」
- 1. 22 第4回「京の美学 ー西陣織の翻古爲新一」

友の会事務局から

○ 会員募集状況

皆様に平成26年度の会員募集の御案内をさせていただきますところ、3月4日現在で、146人の方にお申し込みいただいています。

友の会に入会いただきますと、総合資料館だよりや各種講座、催しの御案内をお送りし、また、現地講座や近隣府県の文化施設等への見学会などに参加いただけます。

申込みは、随時受け付けています。

■問合せ先：友の会事務局

(資料館庶務課内：電話 075-723-4831)

利 用 案 内

休館日 祝日法に規定する休日、
毎月第2水曜日、資料整理期、
年末年始(12月28日～1月4日)

[4月～6月の休館日]

4月9日(水)、29日(火・祝)

5月3日(土・祝)、5日(月・祝)

6日(火・振)、14日(水)

6月11日(水)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交 通 京都市営地下鉄烏丸線・北山駅下車
市バス④、(北8)・北山駅下車
京都バス④⑤、④⑥・前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

古文書相談 歴史資料課 ☎ 075-723-4834

発行 京 都 府 立 総 合 資 料 館 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991) TEL. 075-723-4831 FAX. 075-791-9466

○本誌に対するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。

再生紙を使用しています。